

土木費

土木総務事務費

629 万円
(前年度:579万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

各種協議会への負担など土木全般に必要な事務を行います。

- ・道路賠償責任保険料 30万円
- ・土木補助員委託料 142万円
- ・設計積算システム関係使用料等 143万円
- ・各種協議会等負担金 98万円
- ・共同利用型設計積算システム負担金 154万円



財源

市の負担額

629万円

道路橋梁事務費

458 万円
(前年度:458万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

新規で市道として認定した道路や、道路の拡幅や歩道を整備するなどの改良を行った路線について、道路台帳を整備します。また、朝日滑川間の国道バイパス建設促進の要望を国に対して行います。

- ・道路台帳新規認定路線作成及び修正、路線図のデジタル化等

財源

市の負担額

458万円

道路補修費

3,386 万円
(前年度:3,323万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

道路及び道路側溝等の修繕、街路樹の剪定や除草など、道路の維持管理を行います。

- ・燃料費 65万円
- ・庁用車車検整備等修繕料 36万円
- ・市道路面清掃業務委託料 243万円
- ・街路樹管理業務委託 943万円
- ・市道本江栗山線等除草業務委託 754万円
- ・路面補修及び防護柵補修費 350万円
- ・道路横断補修費 350万円
- ・路面補修材 200万円
- など

財源

その他(道路占用料)

1,555万円

市の負担額

1,831万円

街灯維持費

1,847 万円
(前年度:1,861万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

市が管理する街灯(電球、ポール、点滅器等)の管理を行います。

- ・電気料 1,547万円
- ・街灯修繕料 300万円



財源

市の負担額

1,847万円

土木費

除雪対策事業費

2,593 万円
(前年度:2,450万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除雪計画に基づき、冬期間の低温時には道路に凍結防止剤の散布を行ったり、積雪時には市道の除雪を行います。

- 除雪車用装備品等 150万円
- 燃料費 57万円
- 除雪車両整備点検費 217万円
- 除雪車両修繕費 235万円
- 除雪作業委託料 1,500万円
- 凍結防止剤 100万円

財源

市の負担額 2,593万円

消雪施設維持費

1,243 万円
(前年度:1,265万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

消雪施設の点検、清掃、散水ノズル等部品の交換を実施し、消雪施設の維持管理を行います。

- 消雪施設電気料 624万円
- 消雪施設点検清掃及び清掃ノズル、ドレーン交換業務委託 450万円
- 県消雪施設の市負担分 79万円



財源

その他(消雪施設電気料) 51万円
市の負担額 1,192万円

消雪施設整備事業費

90 万円
(前年度:430万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

消雪パイプの洗浄や揚水ポンプのオイル交換など、メンテナンスを行います。

- 魚躬2号ポンプオイル交換
- 消雪パイプ高圧洗浄業務委託
(高月加島町線外4路線)



財源

市の負担額 90万円

地域ぐるみ除雪機械導入助成費

156 万円
(前年度:156万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

除排雪組合(町内会)に対し、小型除雪機械等の購入費用を助成します。

- 小型除雪機購入費用補助 156万円

財源

市の負担額 156万円

建設機械整備費

901 万円
(前年度:1,051万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

古くなった歩道用の除雪機械を更新し、積雪時の通学路等歩道の確保を行います。

- ・ロータリー除雪車1.0m級



財源

国県支出金	600万円
市の負担額	301万円

道の駅管理運営費

125 万円
(前年度:127万円)

(担当: 建設課 事業調整係)

道の駅（ウェーブパークなめりかわ）の維持管理を行います。

・道の駅消耗品	10万円
・道の駅施設修繕料	12万円
・道の駅清掃業務委託料	65万円
・WAVE滑川への管理委託料	24万円

財源

市の負担額	125万円
-------	-------

薬草植栽ロード事業費

60 万円
(前年度:60万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

「薬のまち滑川」をアピールするため、街路樹の植樹桝に薬草を植え、管理を行います。

- ・滑川富山線薬草植樹工事
植樹桝42か所（魚躬地内）

財源

市の負担額	60万円
-------	------

滑川富山線等舗装改良費

750 万円
(前年度:1,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

路面性状調査に基づき、滑川富山線外1路線の舗装修繕を行います。



財源

国県支出金	412万円
市の負担額	338万円

土木費

道路附属施設改良費

600 万円
(前年度:500万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

道路附属施設(街灯・標識)の点検結果に基づき、修繕を行います。

- ・滑川富山線外道路附属施設(街灯・標識)修繕工事



財源

国県支出金	330万円
市の負担額	270万円

橋梁長寿命化事業費

4,200 万円
(前年度:7,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

長寿命化計画に基づき、適切に橋梁の点検と修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化と維持管理費の削減を図ります。

- ・安田1号線外橋梁補修設計業務委託
- ・柳原第一跨道橋外補修工事(柳原地内外)

財源

国県支出金	2,310万円
地方債	1,700万円
市の負担額	190万円

橋梁点検調査費

270 万円
(前年度:800万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

市が管理する橋梁について、損傷状態や危険性がないかを把握・判断し、道路利用者及び第三者の安全確保をするため、定期点検を計画的に行います。



財源

国県支出金	148万円
市の負担額	122万円

交通安全施設整備費

830 万円
(前年度:830万円)

(担当: 生活環境課生活安全係、建設課 道路河川係)

交通安全施設(道路標識、カーブミラー、道路区画線等)を整備し、交通の安全と交通事故防止を図ります。

(生活環境課分)

- ・自動車等の接触や経年劣化により、都合が悪くなった警戒標識やカーブミラーを修繕します。
60万円
- ・警戒標識やカーブミラーを新たに設置します。
- ・道路区画線(道路の外側線・中央線等)の白線引きをします。
500万円

(建設課分)

- ・街灯設置費 89万円
- ・転落防止柵設置工事 55万円
- ・横断防止柵取替工事 55万円
- ・街灯設置費補助 70万円

財源

市の負担額	830万円
-------	-------

土木費

道路改良費

7,423 万円
(前年度:2,163万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

町内会等からの要望や改良が必要な道路の整備を行います。

- ・ 中新上小泉線の道路改良工事 (中新地内外)



財源

市の負担額

7,423万円

市道舗装費

380 万円
(前年度:800万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

舗装の老朽化した市道について、舗装修繕等を行います。

- ・ 電工跡地2号線舗装 (吾妻町外)

財源

市の負担額

380万円

県道舗装改良負担金

500 万円
(前年度:500万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

県が実施する道路改良・道路舗装・雪寒対策施設整備について、一部負担します。



財源

市の負担額

500万円

江尻高月線道路改良事業費

7,500 万円
(前年度:8,000万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

社会資本整備総合交付金を活用し、市道江尻高月線の道路の拡幅や、新たに歩道を設置するなど、歩行者や交通の安全を図る道路改良事業を行います。

- ・ 江尻高月線道路改良事業 (魚躬地内)

全体施工道路延長 540m
道路幅 12m
(国庫負担金55%)

財源

国県支出金

4,125万円

地方債

3,030万円

市の負担額

345万円

土木費

河川管理費

273 万円
(前年度:600万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

河川の除草や川底に溜まった泥を取り除く作業を行います。また、各種水門の管理を行います。

- 電気料 70万円
- 除草、浚渫業務委託料 164万円
- 水門、用水等管理委託料 36万円



財源

市の負担額

273万円

浸水対策事業費

200 万円
(前年度:440万円)

(担当: 建設課 道路河川係)

豪雨時に水があふれる等、整備が必要な水路等の浸水対策を行います。

- 河川分水施設の整備工事 (四間町)

財源

市の負担額

200万円

駅前広場管理費

884 万円
(前年度:683万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

滑川駅前・駅南広場、中滑川駅前広場等の維持管理を行います。

- 駅前広場管理費
 - 滑川駅前・駅南広場 電気、水道料
 - 滑川駅南広場公衆トイレ・西滑川駅公衆トイレ 上下水道料
 - 広場施設等修繕料
 - 消雪工配管施設点検調整業務委託、電気設備点検業務委託
 - 地下道エレベーター管理点検業務委託
 - 地下道警備監視委託、清掃委託
 - 滑川駅南広場・地鉄西滑川駅・地鉄中加積駅公衆トイレ清掃業務委託
 - 駅南広場タイル補修工事
 - 中央線防音壁塗装修繕工事 等

※あいの風とやま鉄道が消雪用パイプの保守点検料及び電気料について一部負担をしています。(16万円)

財源

その他(消雪装置負担金)

16万円

市の負担額

868万円

都市計画策定費

280 万円

(前年度:25万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

集約型のまちづくりを推進する一環として、用途地域内の都市的な土地利用を推進するため、用途地域等の見直し作業を実施します。用途地域を見直すことにより都市基盤が整備されている区域内での民間住宅開発を誘導し、まちなか居住を推進します。

- ・滑川都市計画用途地域見直し業務



財源

市の負担額

280万円

地籍調査費

472 万円

(前年度:117万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

平成27・28年度に引き続き、田中新町地区において地籍調査を実施します。さらに平成29年度は一筆地図を作成します。

- ・地籍調査業務委託
田中新町地区において地籍調査を実施。
(国庫負担金1/2 県支出金1/4)
- ・一筆地図作成業務委託
地籍調査結果(登記完了)について、
地権者に報告する一筆地図を作成します。

財源

国県支出金

330万円

市の負担額

142万円

駅前再開発事業調査費

100 万円

(前年度:100万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

中滑川駅前・滑川駅前の再開発に向け調査を実施します。

- ・駅前再開発協議会開催費等
- ・先進地視察、進出誘致活動経費
- ・土地利用基本構想策定業務委託

財源

市の負担額

100万円

都市計画事務費

424 万円

(前年度:562万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

都市計画審議会・まちづくり審議会等を開催します。市内を巡回パトロールし、禁止広告物の取り締りを行います。

- ・都市計画審議会、まちづくり審議会経費
10万円
- ・都市計画図印刷代 10万円
- ・屋外広告物禁止物件巡回パトロール
及び撤去業務委託 26万円
- ・各種リース料(土木設計積算システム
・庁用車等) 342万円

財源

市の負担額

424万円

土木費

都市計画街路整備事業費 5,694 万円 (前年度:4,804万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

都市計画道路加島町下島線道路改良工事を通じ通学路の安全対策を推進します。

- ・都市計画道路加島町下島線測量業務委託
- ・都市計画道路加島町下島線道路改良工事
- ・都市計画道路加島町下島線道路改良工事に伴う電柱移転補償
(国庫負担金55%)
- ・都市計画道路加島町下島線道路改良付帯工事

財源

国庫支出金	3,047万円
地方債	2,240万円
市の負担額	407万円

運動公園整備事業費 8,193 万円 (前年度:7,240万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

滑川運動公園「堀江自然ふれあい広場」を市民の憩いの場として整備します。また、野球場エリアの老朽施設の改修等を行います。

- ・堀江自然ふれあい広場維持管理費
- ・有金球場芝生エアレーション作業
- ・堀江自然ふれあい広場整備工事
整備面積4.2ha 休憩場、張芝、植栽等
- ・前田川浚渫工事
- ・野球場施設改修費
有金球場バックネット改修
本丸球場量水器設置
堀江球場フェンス安全防護工事
スポーツトラクター修理等

財源

国庫支出金	350万円
その他(公共施設整備基金)	5,000万円
市の負担額	2,843万円

東福寺野自然公園管理費 930 万円 (前年度:969万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

東福寺野自然公園の維持管理を行います。

- ・指定管理料(文化・スポーツ振興財団)
689万円
- ・パークゴルフ場の芝生維持費
防除作業、芝生エアレーション作業
- ・施設維持用材料費(砂、碎石など)



財源

市の負担額	930万円
-------	-------

【一部新】公園管理費 6,437 万円 (前年度:5,460万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

都市公園等の維持管理を行います。

- ・維持管理費用 648万円
消耗品代、燃料代、電気水道代
公園施設や遊具の修繕代など
- ・トイレ汲取り代、浄化槽点検代 22万円
切手代、木くず処分代等
- ・都市公園等の維持管理 4,052万円
指定管理費及び各公園維持管理費等
行田公園株分け業務委託
- ・庁用車リース代など 50万円
- ・遊具等新設(更新)工事
- ・公園用資材費(砂、碎石など) 30万円
- ・【新】乗用芝刈機購入 230万円
- ・各協会会費

財源

国庫支出金	700万円
その他(使用料)	71万円
市の負担額	5,666万円

市街地空地空家活用支援事業費 200 万円

(前年度:200万円)

(担当:商工水産課商工業係)

市街地の活性化を図るため、市街地における空き地空き家を有効活用し事業を始める事業者に助成します。

- ・市街地空地空家活用支援事業補助金 200万円



財源

市の負担額

200万円



まちなか居住推進事業費

700 万円

(前年度:700万円)

(担当:まちづくり課建築住宅係)

定住人口の増加を図り、魅力ある活力に満ちたまちづくりを推進するため、まちなか(=人口集中地区)区域以外に居住する方が、まちなかにおいて住宅を取得される場合に補助金を交付します。

- ・まちなか居住推進事業費 700万円
定住人口の増加を図り、魅力ある活力に満ちたまちづくりを推進するため、まちなか(=人口集中地区)区域以外に居住する方が、まちなかにおいて住宅を取得された場合に補助金を交付します。
(補助率 金融機関等からの借入額の3/100 限度額50万円)

※主な交付要件

- ◎住戸専用面積 75㎡以上
- ◎3年以上継続して居住される方
- ◎親族2人以上の世帯の入居

財源

市の負担額

700万円

土木費

民間宅地開発事業補助金 1,300 万円 (前年度:1,000万円)

(担当: まちづくり課建築住宅係)

一定規模の宅地開発事業を行う際、公共施設整備に補助金を助成します。

- ・ 公共施設整備
 - ・ 舗装 4,500円/㎡
 - ・ 公園等の整備 1,900円/㎡
 - ・ 植栽 14,500円/㎡
 - ・ 道路側溝整備 16,100円/㎡
 - ・ 防火水槽 2,000円/㎡

財源

市の負担額 1,300万円

市街地活性化推進費 14 万円 (前年度:21万円)

(担当: まちづくり課まちづくり係)

市街地活性化推進協議会を開催し、旧町部の活性化対策、定住促進PRを行います。

- ・ 市街地活性化推進協議会開催費用 8万円
- ・ 定住促進PRポスター作成 5万円
- ・ その他事務用品など 1万円



財源

市の負担額 14万円

【一部新】空き家対策推進事業費

1,122 万円
(前年度:1,550万円)

(担当: 空家対策担当)

老朽化した危険な空き家について、解体除却の推進及び支援をすることで、市民の安全と安心を確保します。さらに、空き家等の適切な管理及び活用の促進を図るための対策や所有者への助言など、必要に応じて緊急安全措置工事等を実施します。

- ・ 危険老朽空き家の解体工事 2戸 400万円
- ・ 測量委託等 2戸 80万円

【新】 危険な空き家の除却支援 5戸 250万円
(補助率1/2以内、上限50万円)

- ・ 空家等対策協議会開催費等 42万円
- ・ 条例8条に基づく緊急安全措置 50万円
- ・ 特別措置法第14条に基づく空家解体工事 300万円



財源

国県支出金 325万円
その他(回収費用) 50万円
市の負担額 747万円

緑化推進費

408 万円
(前年度:427万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

市内の緑化推進を図るために、各施設や花壇に花苗等の配布を行います。

- ・研修費 1万円
- ・花苗代 169万円
市内各地区への花苗配布等
記念花壇等に花苗の植栽
- ・各花壇の水道料 6万円
- ・切手代など 3万円
- ・市内のフラワーポット等の維持管理費 46万円
- ・研修会会場代など 2万円
- ・地域の緑づくり推進事業 120万円
- ・球根及び花壇の材料代 41万円
小学校へのチューリップ球根配布等
- ・花と緑の緑化推進事業補助金 20万円

財源

国県支出金	150万円
市の負担額	258万円

ほたるいかプロムナード管理費 179 万円
(前年度:186万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

ほたるいかプロムナードの中央分離帯の植栽活動やポケットパークの維持管理を行います。

- ・花苗及び肥料代 42万円
- ・ポケットパーク電気料 35万円
- ・花壇や照明灯の修理費 5万円
- ・中央分離帯及びポケットパーク維持管理費 97万円

財源

市の負担額	179万円
-------	-------

21世紀桜のまち推進事業費 50 万円
(前年度:50万円)

(担当: 公園緑地課 公園緑地係)

公共施設又は民有地において桜の植栽を行い、桜の花のまちづくりを目指します。
(目標21,000本)

- ・21世紀桜のまち推進事業 50万円
町内会や会社敷地に植樹する場合、
無料で苗木を配布します。



財源

市の負担額	50万円
-------	------

下水道事業特別会計繰出金 5億8,352 万円
(前年度:5億8,243万円)

(担当: 上下水道課下水道総務係)

下水道事業特別会計において、使用料、受益者負担金(分担金)、国交付金、借入金などの収入で賄いきれない経費に充当するための財源として、市の一般会計等から資金を繰り出します。

- ・下水道事業特別会計繰出金 5億8,352 万円

財源

その他(減債基金繰入金)	422万円
市の負担額	5億7,930万円

土木費

市営住宅維持管理費 1,885 万円 (前年度:1,736万円)

(担当: まちづくり課建築住宅係)

市営住宅(荒俣住宅・シーサイド・外有磯・浜町住宅・サンコーポラス上小泉2・3号棟)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・共用部分電気・上下水道料 37万円
- ・住宅修繕料 539万円
- ・火災保険料 30万円
- ・消防設備保守点検料(消防設備) 98万円
- ・受水槽、高架水槽清掃委託料 24万円
- ・明渡に伴うハウスクリーニング 26万円
- ・除草作業委託
- ・荒俣住宅集会場耐震診断業務委託
- ・荒俣住宅身体障害者用住宅前側溝敷設工事
- ・荒俣住宅自動火災報知設備更新工事
- ・シャワー設置工事

財源

その他(公営住宅火災共済機構補助金) 84万円
市の負担額 1,801万円

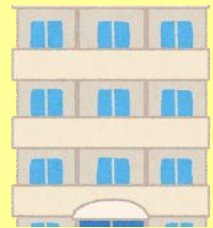
定住促進住宅維持管理費 1,330 万円 (前年度:1,152万円)

(担当: まちづくり課建築住宅係)

定住促進住宅(サンコーポラス上小泉1・4号棟、吾妻、北野)の維持管理を行います。

(主な経費内訳)

- ・共用部分電気・上下水道料 170万円
- ・住宅修繕料 524万円
- ・火災保険料 30万円
- ・消防設備保守点検料(消防設備) 24万円
- ・受水槽清掃委託料 25万円
- ・明渡に伴うハウスクリーニング 32万円
- ・除草作業委託
- ・雑排水管清掃業務委託
- ・遊具保守点検業務委託 5万円
- ・シャワー設置工事



財源

その他(定住促進住宅使用料・共益費)1,330万円

雇用促進住宅購入費 1,643 万円 (前年度:1,663万円)

(担当: まちづくり課建築住宅係)

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構から雇用促進住宅3宿舎(上小泉・吾妻・北野)を譲り受けし、平成26年4月1日から市で管理しています。
その3宿舎の購入費を9回に分けて支払っています。平成29年度は4回目の支払いです。

- ・雇用促進住宅購入費の支払 4回目 1,643万円

《売買代金》

サンコーポラス上小泉 3,978万円
サンコーポラス吾妻 6,802万円
サンコーポラス北野 6,364万円
合計 1億7,144万円

財源

その他(定住促進住宅使用料) 1,643万円

木造住宅耐震改修支援事業費 120 万円 (前年度:120万円)

(担当: まちづくり課建築住宅係)

昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建住宅(2階建て以下)の耐震改修工事に係る費用を補助します。
補助金は、耐震改修に要する費用の3分の2(限度額60万円)です。

- ・木造住宅耐震改修支援事業 120万円(60万円×2戸)
地震に強い住宅の普及を図るため、昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建住宅の耐震改修工事を実施する方に対して補助金を助成します。

財源

国県支出金 60万円
市の負担額 60万円